

2014年度(平成26年度)の柏崎刈羽原子力発電所周辺環境 監視調査結果の評価について

- ◆ 当社柏崎刈羽原子力発電所では、「放射線」や「温排水」が発電所周辺の環境に与える影響について、継続して調査しています。
- ◆ 2015年8月28日に、新潟県、柏崎市ならびに刈羽村と締結している当社柏崎刈羽原子力発電所周辺地域の安全確保に関する協定書に基づき「新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議」が開催されました。
- ◆ 2014年度(平成26年度)に当社が実施した発電所周辺の環境放射線および温排水等の監視調査結果について、新潟県の調査結果と合わせて評価をいただきました。
当社からの報告および評価結果の概要は以下のとおりです。

当社からの報告

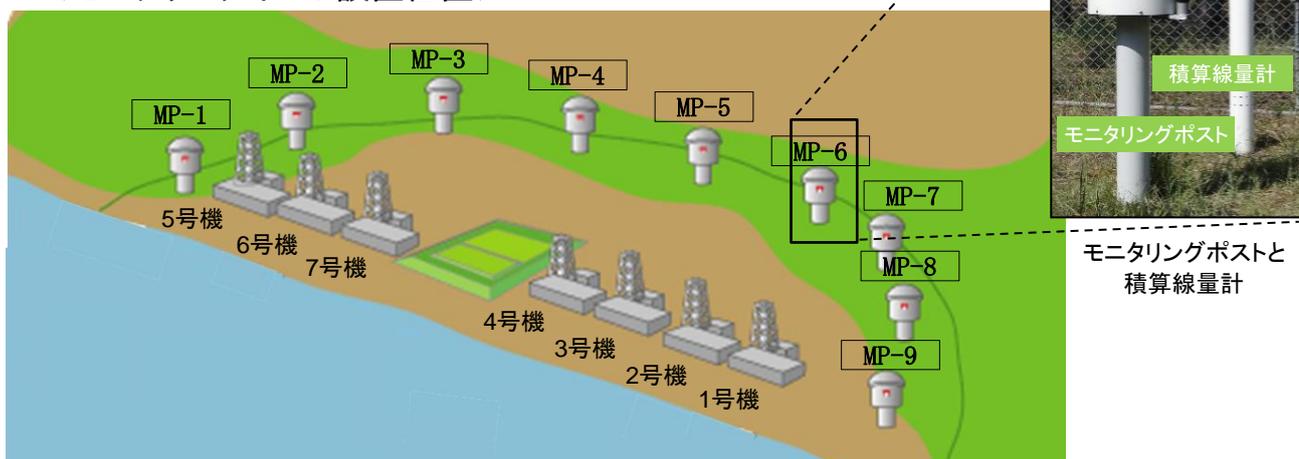
①【環境放射線監視調査】

柏崎刈羽原子力発電所周辺の空間放射線、環境試料中の放射能を調査しました。

⇒ 「各測定地点ならびに試料から検出された値は、
対照期間^{*}の測定値の範囲内または同程度でした」

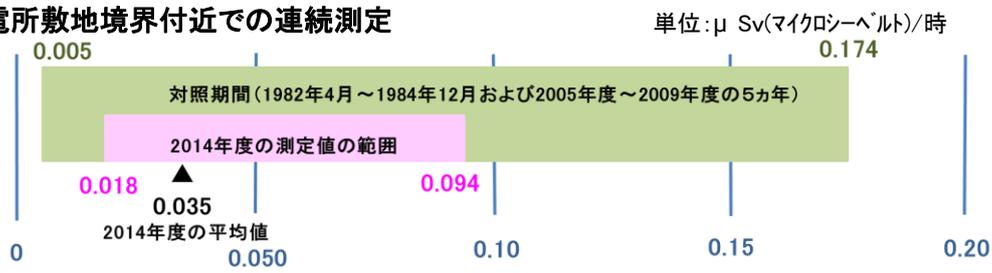
※対照期間とは、福島第一原子力発電所事故の影響を除くため、原則として同事故前の5ヵ年[2005年度～2009年度]および事前調査期間[調査開始～1984年12月]です。

<モニタリングポスト設置位置>



参考① 空間線量率(結果:対照期間の測定値の範囲内でした)

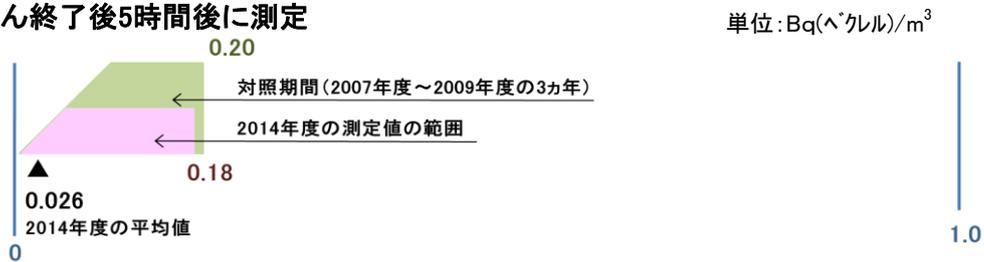
発電所敷地境界付近での連続測定



・モニタリング地点 全9地点

参考② 浮遊じんの全ベータ放射能(結果:対照期間の測定値の範囲内でした)

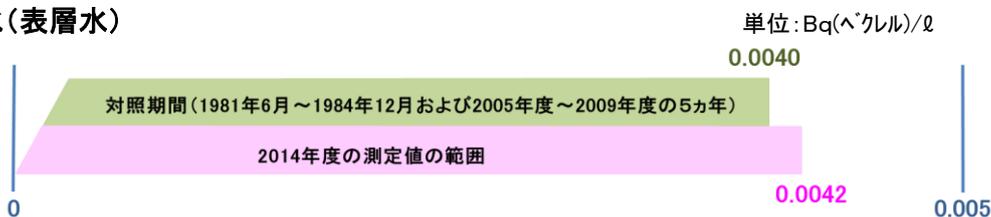
集じん終了後5時間後に測定



・モニタリング地点 全3地点(MP-1,MP-5,MP-8)

参考③ 核種分析(結果:対照期間の測定値と同程度でした)

海水(表層水)



②【温排水等漁業調査】

柏崎刈羽原子力発電所の温排水の影響を監視するために、発電所周辺海域の水温や塩分、プランクトンなどの海中生物の状況を調査しました。

⇒ 「水質や海生生物などの調査では、過去の調査結果と同様の傾向を示しました」

<海生生物の調査状況>



<発電所周辺海域の水質調査>



評価の概要

①【環境放射線監視調査】

「問題となるような測定値は認められず、発電所からの周辺環境への影響は無視できる」と評価されました。

②【温排水等漁業調査】

「これまでの結果と比較して特異な傾向は認められなかった」と評価されました。